

## 品川幹雄氏と文化協会

ニューヨーク天理文化協会副主任

福井 陽一 Yoichi Fukui

2022年1月1日、ニューヨーク市長が交代し、史上2人目となる黒人市長エリック・アダムス市長が誕生した。コロナ禍で急増した暴力犯罪に立ち向かい、経済回復に向けた舵取りが期待される。アダムス氏は、クィーンズ区で貧しく暮らした清掃員の息子で、市警の警部だった経歴を踏まえ、自らを「初めてのブルーカラー市長」と称している。

また、2023年からはニューヨークの市長や市議会議員の選挙には、アメリカ人ではなくても投票が可能になる。ニューヨーク市の人口約900万人のうち約4割が外国生まれ、市民権を持っていない住民も多い。この新条例は永住権（グリーンカード）保持者、また就労ビザ所持者が対象で、約80万人が新たに選挙権を得る。アメリカの大都市としては初めてのことになる。

1月19日には、マンハッタンのアメリカ自然史博物館前に立つセオドア・ルーズベルト大統領像が撤去された。80年にわたって来館者を迎えてきた像は、馬上のルーズベルトの両わきに、アフリカ人と先住民が配置されており、人種差別を想起させるとして議論の対象となっていた。ニューヨーク市では昨年11月、市庁舎内に100年以上置かれていた「建国の父」の一人、トーマス・ジェファソン像も撤去された。彼は600人以上の奴隷を所有し、そのうちの1人との間に6人の子供をもうけた。ニューヨークだけではなく全米で差別や奴隷制を象徴する像の撤去や名称の変更を求める声が高まりつつあるが、後世の時代の価値観によって塗り替えられていくことに異議をとなえる声も聞かれる。

### 品川幹雄氏（文化協会運営委員）の出直し

2021年11月17日、文化協会の創設メンバーの一人である品川幹雄さんが出直した（死去した）。文化協会の誕生から現在にいたるまでかけがえのない働きをした。12月10日、品川さんが経営していたニューヨーク「おめん」レストラン創業40周年記念と追悼式が同レストランで行われた。店の常連客はじめ約130名が集い、賑やかにそしてしめやかに集いが催された。

ニューヨークタイムズ紙にも半ページにわたり、品川さんの追悼記事が掲載された。その中では、オノ・ヨーコやリチャード・ギア、メリル・ストリープ、パティ・スミスなどの著名人をはじめ、芸術やファッション界の大物が集うお洒落な隠れ家とも言えるレストランを品川さんが経営していたことが書かれている。

記事の中で、音楽家のパティ・スミス氏のインタビューを紹介し、「(店には)いつも有名人がいたが、誰も気にかけない。その雰囲気は、ミキオから発せられるものだった。彼は、心の平安で空気を満たし、芸術家に接した。彼が発する快活さが归属感を生み、お互いに精神的な意味での家族の一員であると感じさせた」としのんだ。

品川さんはニューヨークの天理教コミュニティの中では宝のような存在だったが、ニューヨークの人々にとっても宝のようにかけがえのない存在だったのかもしれない。

文化協会設立の発案は、1988年に当時の天理教海外部長がニューヨーク「おめん」レストランを訪れ、奥井俊彦センター所長（当時）と品川さんを交えて話し合ったことが始まりだった。その日以来、毎月「おめん」レストランの2階にスタッフが集まり、設立準備委員会が夜遅くまで熱心に開かれた。

1991年に文化協会がマンハッタンのソーホー地区にオープンしてからは、品川さんはプロジェクトディレクターとして数々のイベントを企画し、様々な分野で活躍する人々を文化協会に導き、「天理」の存在を大勢のニューヨークの人々に広めた。2000年に現在地に移転してからは、運営委員として活動を支え、人材育成に力を注いだ。将来へのビジョンを信念を持って行動に移す人だった。

遺言のようになってしまった文化協会創立30周年記念ビデオに残された品川さんのメッセージをここに記しておく。

### 「これからのニューヨーク文化協会の道筋と抱負」

文化協会設立の元一日を振り返れば、神人和楽の世のさまを実現する為に、神様と我々が、なお一層絆を深め豊かな争いの無い社会を創り上げてゆく事が大きな要となる処であります。

それには、これから代々に繋がる次世代、後世に続く子供達をいかに育て上げるかが大切なポイントの一つとなって参ります。

多様性、そして複雑化社会が加速する現実の中、将来の活動を通し、時代をこえたいリーダー格となる人材を育成してゆく事が、世直し・世づくりの基盤となる事と思われまます。

こんにち地球温暖化・国家人権問題・水・食・エネルギー資源の問題等、乗り越えていかねばならない、山積された諸課題に対し私達は立ち向かっていかなければなりません。

オール天理。オールニューヨーク。オール全地球市民へと輪を広げつつ、皆でチャレンジしてゆく事なれば、先々に世界の天理として親しまれ、評価をいただき、世界からおよろこび戴ける存在になる事と信ずるのであります。

### 「子が勇めば神も勇む」

のお言葉通り、親神様の懐に入りこみ、世界たすけの御用の上で神様のお役に立ち、美しく素晴らしい世界を構築してゆく努力が文化協会ふしんのこれからの本軸となって、未来を夢もって歩いてゆく事を祈願致しております。



写真：品川幹雄さん